

MRI検査同意書 《 ご記入し、検査当日にお持ちください 》

☆予約時間の30分前には総合受付を済ませ、画像診断センター50番までお越しください。

《 MRI検査問診票 》

- 1) これまでMRI検査を受けたことがありますか 無 有(単純・造影)
- 2) 閉所恐怖症ですか 無 有(主治医と相談)
- 3) ペースメーカーはありますか 無 有(当院検査不可)
- 4) 体内金属はありますか(脳動脈クリップ・人工関節・ステント・金属片など) 無 有(手術 年)
部位()/体内金属()
- 5) (女性の方)現在、妊娠の可能性はありますか 授乳中 無 有(妊娠 週目)

※上記3)-6)や裏面に記載してあるものは種類・時期によって検査が出来ない事がございます。不明な場合は主治医・手術された施設あるいは当院へご連絡ください。

《 造影検査を受けられる方のMRI造影問診票 》

- 1) 造影MRI検査中、検査後に何らかの症状がありましたか 無 有 初めて
症状 [発疹 嘔吐 吐き気 血圧低下 その他()]
- 2) ぜん息はありますか(無い方に比べ副作用が出やすいです) 無 有
内容 [現在治療中 治癒 小児喘息]
- 3) アレルギーはありますか(無い方に比べ副作用が出やすいです) 無 有 (^{内容})
- 4) 腎臓病はありますか 無 有 透析中

※問診で□有の方は主治医と相談して下さい。

くまもと森都総合病院 院長殿

《 MRI検査同意書 》

主治医より検査の必要性について説明を受け、検査内容と注意事項について確認し、十分理解したので検査を受けることに

同意します

同意しません

《 造影検査を受けられる方の造影検査同意書 》

造影剤の副作用について説明を受けて十分理解した上で造影剤の使用を承諾し、副作用が生じた場合には医師が必要と判断した処置を受けることに

同意します

同意しません

なお、一度同意されてもいつでも撤回する事が出来ますので、その旨を主治医にお伝え下さい。

西暦 年 月 日

患者様(本人)氏名:

身長: cm/体重: kg

代筆者(続柄)氏名:

()

患者が未成年、または署名困難な場合は代筆者が自筆署名して下さい。

くまもと森都総合病院 画像診断センター MRI室(代表:096-364-6000)

MRI同意書(紹介用)2020年6月作成

MRI検査説明書

当院のMRI装置は3T(テスラ)になります。

MRIとは強い磁石と電波を使用して体の内部を検査する方法です。検査時間は約30分程度です。

《 注意事項について 》

原則、検査着に着替えて頂きます。

冠動脈ステント・生体弁・内視鏡クリップ・避妊リングなどの体内金属について、金属の種類や留置時期により検査が出来ない事が有りますので、ご不明な場合は手術された施設で確認して下さい。

カラーコンタクトレンズ、サークルレンズは必ず外して頂きます。

検査当日は増毛スプレー、パウダースプレーを使用してこられた場合は検査が出来ない事が有りますので、当日はお控え下さい。

化粧・ネイルは重金属が使われているものもあり、吸引・発熱の可能性が有ります。当日は濃いメイクなどはお控え下さい。

腹部検査の方は、検査当日の鉄製剤サプリメントはお控え下さい。

刺青・タトゥーをされていると火傷・変色の可能性が有ります。

《 前処置について 》

通常は前処置の必要ありませんが、下記の検査の場合は必要になります。

	前処置
胆嚢・膵臓	検査6時間前から絶食、3時間前から絶飲 例)午前検査なら朝食抜き、午後検査なら昼食抜き
膀胱	検査前は排尿しないで下さい。蓄尿状態の検査が望ましいです。
骨盤部(膀胱除く)	ガスの影響で画像がぶれるので検査前の排便・排ガスが望ましいです。

造影検査を受けられる方へ 《 Gd造影剤について 》

妊娠中の方、腎機能が低下(GFR<30ml/min./1.73m²)している方の造影剤を用いた検査は、原則行いません。

稀に患者様の体調やアレルギーの有無によって、吐き気やじんましん、かゆみ、のどの違和感などの症状が出てくる場合があります。

副作用の頻度)

- ・軽度の副作用(頭痛、嘔気、紅潮、発疹など);1%未満
- ・重度の副作用(ショック・アナフィラキシー、痙攣発作、腎性全身性線維症);頻度不明

造影剤を使用した直後から症状が出る場合が大半ですが、1時間~1週間ほど経過してから症状が出てくる場合もあります(遅発性副作用)。異常が出たときは、速やかに担当医もしくはくまもと森都総合病院へご連絡ください。また、造影剤を注入する際に造影剤が血管の外に漏れるおそれもあります。注射の際は細心の注意を払っておりますが、そのような症状が出た場合には診察や治療等、迅速かつ最善の処置をさせていただきます。

授乳について)

授乳について、日本の添付文書ではGd造影剤投与後24時間の授乳を控えるように勧められています。ただし、米国放射線学会(ACR)、欧州泌尿生殖器放射線学会(ESUR)、日本医学放射線学会(JRS)によると、造影剤は母乳を介して乳児の腸管から吸収される量はごく微量であることから、特段の理由のない限り、造影剤使用後の授乳制限は必要ないとされています。

くまもと森都総合病院 画像診断センター MRI室(代表:096-364-6000)

MRI説明書(紹介用)2020年5月作成